

見えないものと対話する為に

—自分を写す鏡に何が見えるか—

① 自分の裏側の能力を開発する

(自分の最も嫌なこと、考えないことを行う)(意識的に変える)

実例：A) 新聞の読み方、雑誌の読み方 (動向を学ぶ)

B) 出勤時間、列車 (多様性)

C) 何もしないで意識的にじっとしている (定点観測)

D) 地下鉄 (目的へどのように)

E) 自分の家の位置 (距離で、時間で、標高で、群の中で)

⋮

株式会社 PES 建築環境設計

見えないものと対話する為に

—自分を写す鏡に何が見えるか—

② 五感の復活 (視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚)

実例：A) 野球の見方 (外野席、内野席、ネット裏) → 視点を変えると

B) 読書 (目で読む、書く、口で読む、録音する、聞く)

C) テニスTVの見方 → 自分のスタイルで

D) 中身を当てる → 盲人の感覚

E) 旅の録音 (テープレコーダー)

F) 香料、スパイス (甘い、塩辛い、すっぱい、苦い)

G) 風呂の入り方 (皮膚による感覚、熱感、冷感)

⋮

株式会社 PES 建築環境設計